



今月のテーマ

「冬場の転倒対策について2024」



すっかり寒くなり、いよいよ冬本番ですね。1年を通して冬は特に転倒が多くなる季節です。高齢者の場合は、骨粗しょう症の可能性も高く、転倒が起きると骨折など重症化するリスクがあり、特に注意が必要です。今回は、冬場の転倒・転落をテーマを取り上げます。



冬場に起きる転倒事故、
どんな要因がありますか？

夜間・明け方のトイレ行動に関連する事例が目立ちます。覚醒後の身体の動きが鈍くなることも原因の一つのようです。



転倒 → 骨折、**アクシデント** に繋がる恐れあり！

対策

1. 部屋からトイレへの導線の安全確保

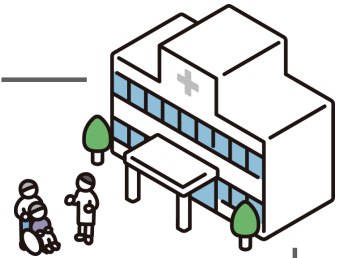
→ つまづきや転倒の要因となる、荷物が置かれていないか、機械のコードが足元にはないかを確認する。

2. ナースコール利用を促す

→ 転倒の危険度がある患者には、再度ナースコールの徹底を！

3. 離床センサーの設置

→ トイレ行動につながる動きをベッド周りでキャッチします。
ナースコールで知らせ、スタッフがトイレに付き添うことができます。



ベッドからの立ち上がり

ナース
コール
♪

コールマット・コードレス

特長

- ・コードレス
- ・マットタイプ
- ・かんたん（床に敷くだけ）

検知範囲に入る

ナース
コール
♪

超音波・赤外線コール

特長

- ・コードレス
- ・センサーに気付きにくい
- ・設置場所を選ばない

……▶ 訪室後、患者を
トイレへ誘導します。

